

# 第4学年 2組 学級活動(1)指導案

第4学年2組(児童数34名)  
指導者 田島 優子

## 1 議題 「4年2組オリンピックを開こう」

【学級活動(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決】

## 2 児童の実態

本学級の児童は、休み時間も男女関係なく遊び、クラスみんなで楽しく学校生活を送っている。また、思いやりがあり、困っている人を助けたいという気持ちがとても強く、自ら手伝いをし、自分の当番や係活動でなくとも、すすんで行動する姿が多く見られる。4年生から始まった「あいさつ運動」では、初めて全校児童に向けて、自分たちが代表となって活動し、学級だけでなく、学校全体がよりよくなる活動の楽しさを実感することができた。「あいさつ運動」では、みんなが笑顔で挨拶してくれるように、旗やたすき、看板等を制作したり、声の調子や台詞を考えて笑顔になってもらうように工夫したりすることができた。自分たちの考えた工夫によって、活動そのものがよりよいものになることも経験し、学級会を通して、自分たちのオリジナル活動を考える機会が増えてきた。

各教科等においても、グループで話し合う活動を意識して取り入れてきた。1学期には、自分の意見を伝えることに一生懸命になるあまり、意見がぶつかり、話し合いがまとまらないことも多かった。しかし、活動を繰り返すうちに、自分の意見を伝えるだけでなく、友達の意見に耳を傾け、質問や補足をする場面も見られるようになってきた。

学級会に関しては、計画委員会を中心にした話し合いを、月に1~2回程度行ってきた。これまでの学級会の活動を通して、クラスがよりよくなるための話し合いにするために、「気持ちよく、全員が参加できる話し合いにしたい。」と児童から声が挙がり、名札を使って、同じ人ばかりが発言したり、全く話し合いに参加できない人が出たりしないような工夫を考えた。学級全員で一緒に話し合っただけでなく、児童の意識が高まってきていると感じる。

本議題は、学年末を控え、「みんなと一緒に頑張る活動を通して、4年生としての思い出を増やしたい。」という児童の思いから提案された。オリジナルオリンピックという活動を通して、一人一人が一生懸命頑張ったり、チームで協力したりしながら、4年2組のクラスみんなで楽しい時間を過ごし、笑顔で学年末を迎えることができるようにしたい。

## 3 本時のねらい

クラスみんなで頑張ったり、楽しんだりできる会の内容と工夫を考えて決めるようにする。

## 4 指導計画

議題	4年2組オリンピックを開こう	
提案理由	大きな行事も終わってしまい、クラスみんなと一緒に頑張る思い出を作る機会が少ない。だから、クラスオリジナルオリンピックを開いて、みんなで頑張って、4年2組みんなで、すてきな思い出を作りたい。	
計画委員会	司会、黒板記録、時計	
司会	黒板記録	ノート記録
話し合いの順序	教師が気を付けること	目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
1.はじめの言葉 2.司会グループの紹介 3.議題の確認 4.提案理由の確認 5.決まっていることの確認 6.話し合うことの確認 7.めあての確認 8.話し合い 話し合うこと① 「4年2組オリンピックで何をするか」 話し合うこと② 「クラスのみんなが頑張れるような工夫を考えよう」 9.決まったことの確認 10.振り返り 11.先生の話 12.終わりの言葉	・準備は朝の会や休み時間を使って進めること、集会は体育館で行い、時間は1時間であることを確認する。(5について) ・あらかじめ意見を掲示し、比べ合う段階から話し合えるようにする。(8について) ・適宜、提案理由を振り返りながら、目的を意識して話し合いが進められるようにする。(8について) ・提案理由を意識しながら、意見を組み合わせたり発展させたりしながら検討できるようにする。(8について) ・児童が互いのよさを見付けられるような振り返りをする。(10について) ・児童の意見のよさを見付け、称賛したり、次への意欲をもてるようにしたりする。(11について)	・クラスみんなで頑張ってできる内容や工夫となるような意見を出したり、合意形成したりしている。 【思考・判断・表現】 〈発言・観察・学級会カード〉

## 5 指導上の留意点

・事前に自分の意見を学級会ノートに書き、それを司会グループが短冊にまとめて掲示しておく。朝の会を利用して、司会グループが短冊を紹介し、「出し合う」を事前に行うことで、本時の話し合いが円滑に進むようにする。